

科目ナンバー	C7406	要件	教職必修 保育必修	授業形態	演習	対象学生	I A B I I C D
授業科目	保育内容演習（環境）						
実施期	前期	単位数	1単位	授業者	総田 久二子		
【科目の概要】 領域「環境」のねらい・内容を理解すると共に、幼児の発達と保育内容との関わり、及び「環境を通しての保育について学び、幼児理解を深める。また、どのような環境構成を行い、どのように生活に取り入れるのか等、適切な援助及び支援について学ぶ。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	「環境による教育」を理解している。						1-c
イ	身近な環境を取り入れた遊びを習得している。						2-d
ウ	保育者として、幼児の活動と環境構成及び援助について考察することができる。						3-c
エ	身近な環境に積極的に興味・関心をもっている。						4-c
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	保育の基本と保育内容とは何かについて学ぶ。			月 日	教科書第1章を熟読しておく。		
2	春の草花に関する知識をもち、草花遊びを知る。栽培活動計画を立てる。			月 日	園・所で育てたい野菜について調べておく。(0.5時間)		
3	子どもの「環境とかかわる力」の発達を支えているものは何かを学ぶ。(生活の中で)			月 日	教科書第2章を熟読しておく。		
4	子どもの「環境とかかわる力」の発達を支えているものは何かを学ぶ。(遊びの中で)			月 日	教科書第2章を熟読しておく。		
5	栽培に関する知識を学ぶ。(野菜の種まき)			月 日	栽培指導計画を仕上げる。(0.5時間)		
6	子どもの「環境とかかわる力」をどう理解するか。			月 日	教科書第3章を熟読しておく。		
7	領域「環境」と保育方法を学ぶ。			月 日	教科書第4章を熟読しておく。		
8	園・所で飼育する小動物、小虫の飼育方法を学ぶ。(獲得を目指す力の確認)			月 日	園・所で飼育に適した小動物・小虫を調べておく。(0.5時間)		
9	領域「環境」と保育の実際を学ぶ。			月 日	教科書第5章を熟読しておく。		
10	領域「環境」と保育の実際を学ぶ。実践上の留意点について学ぶ。			月 日	教科書第6章を熟読しておく。		
11	文字や記号への興味・関心を高める遊びや保育環境について学ぶ。			月 日	教科書3章4節を熟読しておく		
12	数量図形への興味・関心を高める遊びや保育環境について学ぶ。			月 日	教科書第3章5節を熟読しておく。		
13	環境の構成、再構成の在り方について学ぶ。			月 日	幼稚園教育要領・保育指針解説「環境の構成と保育の展開」を熟読。		
14	奈良の行事を中心に、様々な行事や地域等での関心を高める保育環境について学ぶ。			月 日	自分が生まれ育った伝統行事を調べておく。(0.5時間)		
15	調べてきた伝統行事について発表する。まとめ			月 日	発表をする練習をしておく。(0.5時間)		
16	テスト			月 日			
【教科書・テキスト】 保育内容「環境」 柴崎正行・若月芳浩 ミネルヴァ書房				【成績評価の方法】 受講態度20% 提出物20% 試験60%			
【参考書・テキスト】 幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 認定こども園教育・保育要領							
【履修要件及び履修上の注意事項】 調べ学習に図書館を利用することがある。他の利用者のことを考えて行動をとり、図書館利用規定に従うこと。授業がスムーズに進行できるように、決められた準備をして授業に臨むこと。							
【履修上の遵守事項】 提出物は期限厳守のこと。15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻3回で欠席1回とみなす。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：N15 総田研究室 オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア	「環境による教育・保育」のねらい・内容の理解	「環境による教育・保育」とはどのような事なのか基本的なことを知っている。	「環境による教育・保育」のねらい・内容を理解している。	領域「環境」のねらい・内容を理解している。	
イ	乳幼児の興味・関心のある遊びの指導	乳幼児の興味・関心のある遊びを知っている。	5つ以上の遊びを知っている。	10こ以上の遊びを知っている。	
ウ	学習したことを振り返り、より発展的な理解	学んだことを振り返り書いている。	学んだことを振り返り、考えたり、工夫したことを書いている。	学んだことを振り返り、考えたり、工夫したことをより発展させようとして書いている。	
エ	動植物や小虫など身近な環境への興味・関心	園・所で飼育する動植物、小虫について述べる事が出来る。	動植物、小虫を触ることができる。	動植物、小虫に愛情をもって継続的に飼育・栽培接することができる。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					